

2018年度 日弁連夏期研修（関東地区）のご案内

日本弁護士連合会では、弁護士法第2条（弁護士は、常に、深い教養の保持と高い品性の陶やに努め、法令及び法律事務に精通しなければならない。）の規定により、1958年から、毎年時宜に適った議題を選んで夏期研修を実施し、会員各位の実務の向上及び学術研究の一翼を担ってまいりました。

さて、本年度も同研修を関東弁護士会連合会の担当により、関東地区において下記の要領で実施いたしますので、ご案内申し上げます。

実施要領

【日 時】 2018年7月13日(金)・14日(土) 午後1時～午後5時15分(両日とも)

【場 所】 弁護士会館2階「クレオ」

【参加費】 1日あたり1,000円 司法修習生は無料

(1講座だけの申込も同額です。当日研修会場でお支払い下さい。)

【申込方法】 参加を希望される会員は、本紙裏面の申込書をご利用になり、なるべく6月15日(金)までに関弁連事務局にファクシミリ(03-3581-0223)にてお申し込み下さい。締め切り日までにお申し込みいただいた方には、事前にテキストをお送りする予定です。

【研修日程】 研修日程は下記のとおりです(なお、事情により講師等を変更する場合があります)。

7 月 13 日 (金)	13:00 ～ 15:00	□ 倫理研修 コーディネーター(岩崎晃弁護士・第一東京弁護士会会員)による、近時の懲戒事例の傾向や最近制定された日弁連の規定の概要等の説明の後、弁護士倫理に関連する設例について討論形式で研修を行います。
	15:15 ～ 17:15	□ テーマ 「供述の信用性に関する諸問題」 □ 講師 門野 博 氏(元東京高等裁判所部総括判事・東京弁護士会会員) 2010年まで札幌地方裁判所所長、東京高等裁判所部総括判事等を歴任された門野博弁護士に、裁判官時代の経験を踏まえ、経験則の見方、録音録画導入による影響、供述心理学による鑑定の有用性といった点に触れながら刑事裁判における供述証拠の信用性に関する今日的課題を講義いただきます。
7 月 14 日 (土)	13:00 ～ 15:00	□ テーマ 「控訴、上告及び上告受理申立てにおける代理人の訴訟活動」 □ 講師 福田 剛久 氏(元高松高等裁判所長官・第一東京弁護士会会員) 民事訴訟における、控訴、上告、上告受理申立てについて、その要件や代理人として留意すべき点などについて、最高裁判所上席調査官、東京高等裁判所民事部総括判事のご経験や著作もある講師からお話を伺うことにします。
	15:15 ～ 17:15	□ テーマ 「2017年民事判例10撰」 □ 講師 山野目 章夫 氏(早稲田大学大学院法務研究科教授) 適切な弁護士業務を行うためには、最新判例の内容を知り判例の動向を常に把握することが必要不可欠です。本年も、山野目章夫先生(早稲田大学大学院法務研究科教授)を講師にお迎えして、2017年の重要な民事判例を解説していただきます。

【注意事項】 倫理研修の受講義務者は、倫理研修に遅刻・早退をした場合には「倫理研修を受講した」とは認められませんので、ご注意願います。

【問合せ先】 関東弁護士会連合会事務局 鈴木(電話:03-3581-3838 FAX:03-3581-0223)

2018年度 日弁連夏期研修（関東地区）申込書

関東弁護士会連合会 行き

FAX 03-3581-0223

(ファクシミリ番号のお間違えにご注意ください。送信票は不要です。)

1 参加を希望する講義に○印を付加して下さい。

7/13		13:00～15:00 倫理研修
		15:15～17:15 供述の信用性に関する諸問題
7/14		13:00～15:00 控訴、上告及び上告受理申立てにおける代理人の訴訟活動
		15:15～17:15 2017年民事判例10撰

2 ご氏名等をご教示ください。

(ご提供いただいた個人情報は、関東弁護士会連合会個人情報保護規則に従い厳重に管理いたします。また、資料の事前送付・受講確認名簿作成・日弁連への倫理研修受講者報告のみに使用いたします。)

(フリガナ)
氏名 _____ 登録番号 _____ 修習期 _____ 期 _____

所属弁護士会 _____

事務所住所 〒 _____

事務所名 _____

電話 _____ (_____) _____ FAX _____ (_____) _____